

おやまガイド

富士山

3

子育て

4

教育

5

SDGs

6

地域経済

7

健康

8

観光

9

三来拠点事業

10

防災

11

金太郎伝説

12

歴史

13

インタビュー

14

位置・面積

16

小山町の四季

2



小山町

小山町の四季



春／富士靈園



富士浅間神社開山式

夏
冬
春秋



富士山金太郎春まつり



水耕菜



豊門公園ライトアップ

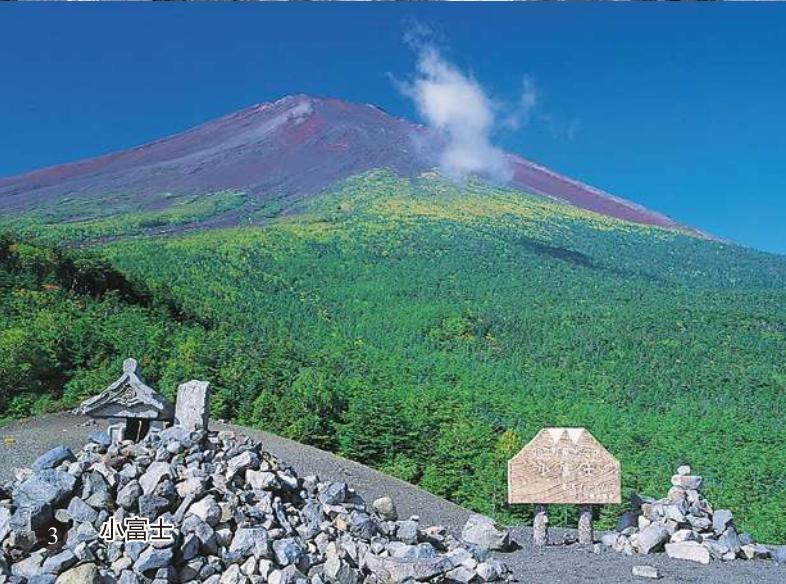
富士山



ふじあざみライン



須走口登山道（山頂付近）



3 小富士

小山町は日本一の高さを持つ富士山頂までを町域とします。富士山は、「信仰の対象と芸術の源泉」の名称のもと2013年6月に世界文化遺産に登録されました。その富士山の構成資産には、町内にある須走口登山道、富士浅間神社（須走浅間神社）が登録されています。



まばろしの滝

子育て

子どもたちが
元気に育つまち

子ども子育て支援事業計画の基本理念である「支えあい、ふれあい、健康で安心して子育て子育ちができる金太郎の郷」の実現に向けて家庭、地域、事業者等の関係団体が一丸となつて子どもの最善の利益の実現を図ります。これからも、子育てにやさしいまちづくりを進め、子育て世帯がずっとこの町で子どもを育てたいと思える町を目指します。

■子育てにやさしいまち

町では、妊娠、出産、育児まで切れ目ない支援体制を構築し、妊娠から出産後の手続き、各種支援の案内等をまとめた子育て支援ブックを行。令和3年からは、初めて育児を担う保護者の負担軽減を図るため、出産・子育て応援給付金を始め子育てにやさしい町づくりを進めています。

■ステージに合わせた手厚い支援

子どもの人格形成の基礎を培う機会を支援し、子育てに係る費用の負担軽減を図るために、不妊・不育治療に係る費用の助成や保育料を第2子半額、第3子以降無償など妊娠からステージごとに様々な支援策を行っています。



教 育

生きる力を育むまち



町内には、こども園6園（内私立こども園2園）と小学校5校、中学校3校があります。令和5年4月7日現在の各施設の児童・生徒数は、こども園487人、小学校890人、中学校435人です。特別支援学級は小学校5学級、中学校5学級設置しています。

魅力ある学校給食

町では、昭和30年から中学までの自校式の給食が実施されています。地元の食材を取り入れた望ましい食習慣や食生活が身につくように食育の指導を行っています。また平成31年からは、保護者の負担を軽減するため、公立こども園、小・中学校の給食費の無償化を行っています。

教育の情報化

社会で生きていくために必要な資質・能力を育むため、学校の生活や学習においても日常的にICTを活用できるよう、児童生徒一人1台のICTタブレットの環境を整備しています。

切れ目のないライフサポート

流出傾向が続いている若者世代を支援するため、遠距離通学定期券購入費助成、奨学金返還支援助成金などを実施しています。



SDGs

富士山と共に生きるまち



富士山一斉清掃



雄大な富士山の豊かな自然環境の恩恵を受けている小山町では、身近な環境に対する意識を高め、環境保全に努めています。

■環境への意識の醸成

町内各所で実施する一斉清掃等により、環境美化に対する地域住民の意識の醸成を図っています。富士山の自然環境を守り、いつまでも美しくすることを目的として、「富士山一斉清掃」を行い、ごみの持ち帰りや登山マナーの啓発を行っています。また、環境負荷を減らすための方策として、富士山須走口のマイカー規制を実施しています。

■再生エネルギーの推進

災害に強く持続可能な太陽や水、森林などの豊かな自然資源を生かした再生可能エネルギーの導入を促進しています。

平成29年9月からは太陽光発電事業（DREAM Solar ふじおやま太陽光発電所）を行い、パネル数は約62,000枚、1年間で約4,100世帯を賄う電力を発電しています。

太陽光発電の操業により、脱炭素社会の推進のほか、有事の際の、地域の非常用電源確保にも寄与します。



太陽光発電所

地域経済

活気あふれるまち



道の駅「すばしり」は、富士山に一番近い道の駅として平成23年に開駅しました。須走口5合目に至るふじあざみラインに直結し、富士登山や世界文化遺産である富士山観光の拠点として賑わっています。

道元の食材をふんだんに使ったメニューは大人気です。また新鮮な農産物を求めて町外から多くの人が訪れます。

道の駅「ふじおやま」は、国道246号唯一の道の駅として平成16年に開駅して以来、富士山を一望でき、田園風景と清澄な空気と水を満喫できる空間が多くの方々に親しまれています。

2つの道の駅
道の駅「ふじおやま」は、国道246号唯一の道の駅として平成16年に開駅して以来、富士山を一望でき、田園風景と清澄な空気と水を満喫できる空間が多くの方々に親しまれています。

お店の魅力の発見や、付加価値を高めた商品の開発などを支援し、道の駅などの交流拠点やふるさと納税を活用しての情報発信や販売活動を推進しています。



健 康

健康で笑顔あふれるまち



小山町では、日本一の健康文化都市を目指し、生涯を通じての健康づくりをサポートしています。

妊娠期から出産、月齢に応じた教室や健診、子育て支援、生活習慣病予防、フレイル予防など様々な支援を行っています。

■ 子ども医療費の負担軽減

平成30年から18歳までの子どもの入院・通院にかかる医療費の保険診療に係る自己負担分を全額助成しています。

■ 健康相談

健康福祉会館や町の施設を利用し、月1回、「健康屋さん」を開催しています。骨密度測定やインボディ（体成分分析装置）による筋肉量・体脂肪量測定の他、保健師など専門職による一人一人にあった健康アドバイスを行い、町民の健康づくりのお手伝いをしています。

■ 健康寿命の延伸をめざして

心身のフレイル（虚弱）状態を予防、改善するため高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施しています。また、関係機関と連携し、様々な教室を開催し、高齢者の健康づくり、いきがいづくりへの支援を行っています。



介護予防教室



乳幼児健診

観光

豊かな自然や
美しい景観に親しめるまち



誓いの丘公園

■富士山の麓で遊ぶ

富士山のある町、金太郎生誕の町として、須走口登山道や金太郎ゆかりの史跡が点在しています。また、町内には11のゴルフ場があり富士山を背景にゴルフが堪能できます。他に、世界有数のサーキットである富士スピードウェイ、富士モータースポーツミュージアム、須川フィッシュングパーク、約8,000本の染井吉野が咲き誇る富士靈園など、豊かな自然に囲まれ、魅力的なアクティビティが体験できる町です。

■足柄峠・金時山

足柄峠には、新羅三郎義光吹笙の故事が伝えられ9月には「足柄峠笛まつり」が開催されます。

最高峰1,212mの金時山山頂からは眼下に芦ノ湖と仙石原、伊豆の山々など360度の大パノラマが楽しめます。

■トレイルとハイキング

町内には、静岡県と山梨県、神奈川県境の富士山5合目から足柄山系の金時山までを縦走する全長約43kmの「富士箱根トレイル」と「クアオルト健康ウォーキング」足柄古道・銚子ヶ淵コースと須走・富士山眺望コースの2つがあり、それぞれ自然を堪能できるコースです。



富士モータースポーツミュージアム

三来拠点事業

いきいきと働け、
のびのびと暮らせるまち

小山町は地域産業の活性化や自然と調和した多彩なライフスタイルと魅力ある地域づくりなどを目指して県が進める、「ふじのくに」のフロンティアを拓く取組へいち早く参画しました。

湯船原地区、小山PA周辺地区、足柄SA周辺地区の3拠点を中心にして具現化し、企業誘致や交通アクセスの充実など、さまざまな事業を推進することで雇用や賑わいの創出、新たな住まい空間の創出などを図り、定住人口の拡大と地域活性化を目指します。

■ 食を支える工業団地

食品加工生産エリアとなる「富士山麓フロンティアパーク小山」では、大消費地である首都圏へのアクセスの優位性や豊かな自然環境がアピールポイントとなっています。食料品製造などの企業が進出、操業しており、地域の雇用創出にもつながっています。

■ モータースポーツをテーマにした空間

新東名高速道路に設置される小山パーキングエリアの周辺に自動車・モータースポーツ関連産業や観光施設を集積し、観光資源を活かしながら交流人口の拡大と雇用の創出による地域活性化を進めます。



大規模施設園芸



食料品製造 10

防 災

安心安全なまち



地域防災の中核組織として、町内には40の自主防災組織があり、防災訓練や機器の点検など日頃から活動を行っています。また、町内に7つある消防団は常備消防と連携し火災時の消火活動に加え災害時の対応などさまざまな役割を担っています。また御殿場市、裾野市と共に住民向けに防災士養成講座を開設しており、これまでに97人の方が防災士の資格を取得しました。

■ 広域連携

南海トラフ巨大地震をはじめ、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、災害の大規模化、激甚化に対応するには他市町や民間企業との協力が欠かせません。町では、平成9年以降自治体や企業、団体などと災害時の相互応援に関する協定等を結んでいます。

■ 犯罪防止に向けた取組み

犯罪防止の観点から通学路など町内約40箇所に防犯カメラを設置し、さらに、街を明るくして夜間の犯罪を防止するため、地元の区による防犯灯の設置や管理に要する費用に対し補助金を交付しています。また、高齢者に対する振込詐欺などの被害を未然に防止するため、特殊詐欺等被害防止機器の購入に対する補助金を交付しています。



金太郎伝説



足柄山の金太郎は、童謡「金太郎」などによって全国に知られています。

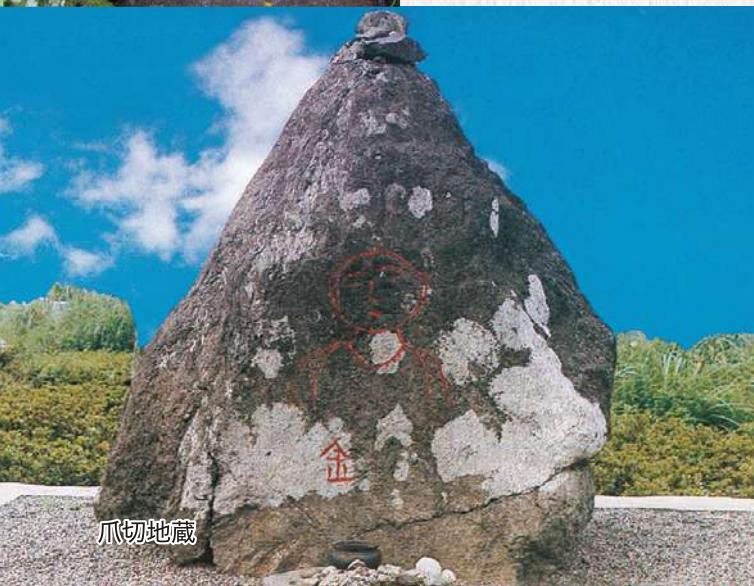
小山町には、金太郎が生まれ育った所だという伝説が古くから残り、今も「金太郎生誕の地」「金太郎ゆかりの地」として語り継がれています。

足柄山の近くで山姥を母として生まれた金太郎は、赤い体をした大変力の強いたくましい子供でした。いつも大きなまさかりを肩に、けものや魚、鳥などを仲間として、山中を裸でかけまわって遊ぶ健康な体のもちぬしでした。金太郎は成人して、源頼光に見いだされ、坂田公時とう名をいただき、渡辺綱、碓井貞光、ト部季武と共に、頼光の四天王として大江山の酒呑童子や鬼童子、袴垂保輔などといった鬼や盗賊を退治する武士になりました。

この物語の金太郎時代のゆかりの場所として、金時屋敷や姥の腰掛石、遊女の滝、頼光対面の滝など数多く残されています。



ちょろり七滝



爪切地蔵



足柄駅前金太郎

歴史

文化の香り高いまち



西洋館



豊門会館（和館）



国登録有形文化財（森村橋）

小山町は、自然環境と多彩な地形・地質、そして古くから交通の要所であつたことなどを背景に、それぞれの地域で特徴的な歴史文化が育まれ、現在まで守り伝えられています。明治22年東海道本線が開通し、小山駅（現駿河小山駅）が開設されました。鉄道幹線の開通、日本の工業を先導した富士紡績株式会社の進出により明治の終わりに小山町は大きく発展しました。

■町の経済発展の礎築く

豊門公園地内には6箇所の登録有形文化財があり、なかでも豊門会館は明治40年頃に東京（向島）にあつた、富士紡績の和田工場長の邸宅を大正14年に移築したもので、和館と洋館を合わせもち、内部装飾に優れた建物です。

■文化財の保護と継承

町内には、文化財や史跡の他、金太郎にゆかりの地が数多く残っています。それら全てにはそれぞれの物語があり、文化の香りを感じることができます。

- ・国指定文化財（2件）
- ・国登録文化財（8件）
- ・静岡県指定文化財（4件）
- ・小山町指定文化財（18件）



小山町長 込山正秀

ンタビューをしました。

小山町が目指す
まちづくり

金太郎 どのようなまちづくり
を目指しますか

町長 静岡県で一番元気な町
にしたいですね。近隣市町から
羨望の的となる町にしたいで
す。

金太郎 まちづくりには何が一
番大事だと思いますか

町長 まず、第一に「子育て
教育」。

全国的に人口減少し、出生数
が減り続けていることは深刻で
す。我が町も右肩下がりが続い
ていて、このままだと小学校が
統合になりかねないです。まず
は、子どもを産み育てる環境を
整え、教育の充実を併せて力を
入れていきたいです。

金太郎 具体的にはどのような
ことを

町長

○中学校の部活の見直し、ス
ポーツクラブ連携や外部コーチ
を導入していきます。
○温水プールの設置。小学校の



金太郎

込山町長に 金太郎がイ

プールを1つに集約して、小中学校で1年を通じて水泳授業ができる環境を整え、夕方や日曜などは一般町民が利用できるようにして健康増進につなげています。その他にもいろいろな施策を考えています。

金太郎 いろいろな施策を実行するには財源が必要ですよね

町長 現在取り組んでいる三来拠点事業を早期に完成に結び付けて、町税収入を上げていきます。また、民間手法のPFIでイニシャルコストをかけずに事業を実施していきます。

金太郎 最後に一言お願いします

町長 地域経済にコロナの影響が残っていますが、一日も早い立ち直りに尽力していきます。

観光も町の元気には欠かせません。令和4年秋には「富士スピードウェイホテル」がオープンし、須走でも高級ホテルの建設が始まりました。今進めている大型観光集客施設も多くの方々が見込まれます。町は百年の計に一步一歩動き出しました。町民と一緒にアクセルを踏み込んでいきます。

位置・面積

